

2019年 12月 1日 《アドベント・誕生祝福式》

主 日 礼 拜

③19時

③石井師

③石井師

賛 美 讃美歌94番 & ～もちいたまえわが主よ～

パウロの祈り①

②テサロニケ人への第一の手紙2章13～16節

バルナバ会

②「福音に生きる信仰」石井 潤牧師

聖歌590番 & ～恐れなくていいよ～

〔献金当番：青木姉・和田姉〕

【司会者】

～喜びがある～

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!
《今週のお知らせ》

1. 本日からアドベント（待降節）に入ります。クリスマスに備えましょう！
2. 本日礼拝直後 30 分程、聖歌隊練習。昼食後 1 時～、聖書の学び会です。
3. 今週の祈禱会は、☆早天祈禱会:月曜朝 6 時。☆木曜祈禱会:①午前 10 時半、②夜 7 時半:メッセージは、大川牧師(大和祈禱会映像)。☆準備祈禱会:土曜夜 8 時。
4. 金曜夜 7 時～、ユースクラブアップの X マス集会が行われます(城下防災センター)。
5. 来週の日曜礼拝では聖餐式(大切に！！+聖歌隊 30)。午後は執事会を行います。

12/14(土):バイブルスタディ 19(日):大手家庭集会

22(日):クリスマス礼拝&祝会 24(火):イブムービーナイト 29(日):年末感謝礼拝

一年に一回聖書を完読できる！ *Bible Reading Plan* [12/1-8]

[illegible]

「福音に生きる信仰」

～書かれた福音ではなく…。～

「私たちは、神に感謝せずにはいられない。それは、私たちが最高の知らせ(ゴスペル)を伝えた時、私たち人間の考えと見なさず、神のことばとして受け入れたからだ！ 事実、これは神のことばであって、信じる者の生活を一変させる！」テサロニケ人への第一の手紙2章13節 [アライブ訳]

有名な宗教改革者マルチン・ルターは、中世の暗黒時代の中から人々を本当の救いに導いた人ですが、彼は「教会は書かれた福音によってではなく、語られた福音によって、生まれ成長していく」と言いました。それは、本に書かれた福音というものを読んで、あるいは福音とは何かということを知り、教会が生まれて来るのではなく、教会は福音を生きている人々の生きざま、そしてそういう人々が福音を語る時に、その福音を聞いた人々が同じような感化を受けて、同じように福音に満たされていく、またそれを他者に伝えていく、それによって教会は誕生し、また成長していくと言ったのです。

〔「説教テサロニケ人への手紙」 小林和夫著〕

教会は聖書を土台として建て上げられます。また、キリスト教の様々な働きは聖書を土台としています。しかし、それぞれの組織がそれぞれの特徴を持って成り立っているということを見る時に、聖書＝福音はそれを伝える人々を通してその姿が変わっていくことを知ります。

カトリック教会のトップである教皇フランシスコが来日しました。彼が教皇として就任してから様々な改革が進んでいるとのことですが、それは、彼を通して与えられている福音の世界が形としてあらわれていると言えます。ですから、時の指導者、リーダーがどのように聖書、福音を理解しているかということとはとても大きな意味を持っています。

日本には約8000のキリスト教会が存在していますが、二つとして同じ教会はありません。聖書が同じならば、すべてが同じ教会であってもおかしくありません。牛丼店ならば、同じチェーン店なら必ず同じ味になるようにできていますが、教会はそれぞれの地域性、リーダーの気質、信徒たちの状況に合わせて大きく変化します。それは、牛丼はお腹を一時的に満たすためのものですが、福音は人の人生を永遠に満たすためのものだからだと言えます。

クリスチャンも同様で、一人一人の証はみんな異なります。福音はすべての人のニーズを満たすことができるもの。しかし、その人の伝える福音がすべての人のニーズに合うものであるかどうかは別です。ですから、様々なタイプの人々がそれぞれ生きた神様との出会いをする必要があります、その人々がそれぞれに合った状況の人々に対して証しをしていく必要があります。この教会もひとりでも多くの方々に生きた神様の福音をご紹介しますいきたいと願っていますが、それは、私たち一人ひとりにかかっているということです。自分自身に与えられている福音は何なのか？ 神様は自分自身にどのように語っておられ、願っておられるのか、そこをしっかりとつかむことが重要なのだと思います。クリスマスを前に自分の信仰を整えましょう。